

修学旅行新聞

3-3 新井

法隆寺

法隆寺は、飛鳥時代の姿を現在に伝える世界最古の木造建築として広く知られています。日本最初の世界文化遺産であり、仏教文化の宝庫として、人々の注目を集めています。境内には、飛鳥時代を始めたさまざまな時代の料を集めた建築物が軒をたなわたり、たくさんの宝物類が伝来しています。

金閣寺

○ 金閣寺は、臨濟宗相国寺に属する禅寺で、建立は文明十四年（1469）室町幕府八代將軍足利義政によりなされました。

○ 義政公は、祖父にある三代將軍足利義満公の北山殿金閣（鹿苑寺）にならり、隠栖生活を通じて、ため、造営されました。

○ 金閣寺は、俗称であり、正しくは東山慈照寺です。金閣寺には、東山文化と禅宗文化の結晶をみることが出来ます。銀閣寺は、屋敷だけではないが清らかなような感じがしました。吹く風も、心地よかったです。



金閣寺

龍安寺の石庭は、空間に白砂を敷き詰め、十五個の石を配したものです。石庭の意味は、謎に包まれており、見る人の自由な解釈に委ねられています。座って、石庭を見ていると、心が落ちつく感じがしました。北里に据えてある銭形のつづばは、一見「五車七矢」の文字に読まれるが、中心の口を共用すれば、「吾唯足知つるカタリヲシル」となり、禅の悟言を迷離もに図案化された無言の悟道である。

龍安寺

○ 金閣の二層と三層は、漆の上から純金の箔が貼ってあり、屋根は、椀の薄板を何枚も重ねたこぼり葺で、上には鳳凰が輝いています。お釈迦様の舍利（お骨）をまつた舍利殿「金閣」が特に知られ、金閣寺と呼ばれています。正しくは、「鹿苑寺」と言い、臨濟宗相国寺派の禅寺です。世界文化遺産に選定されています。実際に見た金閣寺は、写真がほんの半分くらい美しい感じがしました。金色に輝く金閣寺は、迫りもあり沢山の観光客で、にぎわっていました。



二泊三日の修学旅行は、京都・奈良の文化に触れることができました。伝統を感じることもできました。伝統を感じることができたので、良かったです。写真で見ただけでは分からなかったことが、沢山あり、見学することができて、良かったです。京都・奈良は、とてもいいところ。日本のすばらしい伝統・文化に触れることができて、学ぶことが沢山あります。とても貴重な三日間になったと思います。

